

## 第 3 回 宇都宮市河内自治会議

日 時：平成24年6月28日（木）

午後2時00分～

場 所：河内地域自治センター

第1・2会議室

---

### 次 第

---

#### 1 開 会

#### 2 協議事項

##### （1）合併市町村基本計画の執行状況について

①答申書（素案）について・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料1】

##### （2）地域のまちづくりに関する施策の提案（テーマ：「教育・文化，健全育成」）について

①目標の決定について・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料2】

②実現方策の設定について・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料3】

#### 3 その他

##### （1）次回の開催日程について

##### （2）その他

#### 4 閉会

# 答申書(素案)

## 1 「地域別計画における主要施策事業」について（諮問対象事業）

### (1) 道路新設改良事業

(執行状況)

	路線名	状況	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度 (予定)
事業 内容	市道 20216 号線	完了	【平成 20 年度 整備完了】		
	市道 20299 号線	完了	改良工事 【整備完了】		
	市道 20271 号線	完了	—	改良工事 【整備完了】	
	市道 20042 号線	整備中	用地買収, 物件補償, 改良工事	改良工事	用地買収, 物件補償
	市道 20061 号線	整備中	—	用地買収, 物件補償	改良工事
	市道 20065 号線	完了	—	改良工事, 物件補償 【整備完了】	
	市道 20227 号線	整備中	—	休止	休止
	市道 20354 号線	未着手	—	—	—

### 【平成 23 年度の意見】

計画されている 8 路線のうち 2 路線の整備が完了し、残り 6 路線のうち 4 路線についても事業が計画的に進められております。

特に、通学路となっている市道 20042 号線については、歩道を設置するなど安全性に配慮した整備が早期に完了することを期待しています。

また、未着手路線につきましては、今後、必要性を十分に検討することを求めます。

なお、合併市町村基本計画に掲げられた上記路線以外の整備が必要な路線については、全市の均衡ある発展の中で十分検討する必要があります。

### 【平成 24 年度の意見（案）】

計画されている 8 路線のうち 4 路線の整備が完了し、残り 4 路線のうち 2 路線についても事業が計画的に進められております。

特に、市道 20042 号線については、通学路にもなっていることから、歩行者や自転車等の安全性に配慮のうえ、早期に整備が完了することを望みます。

また、未着手路線の市道 20354 号線については、整備中の路線の進捗状況を見極めながら、整備に向けた検討が必要です。

なお、合併市町村基本計画に掲げられた上記路線以外の整備が必要な路線については、本市の道路整備計画へ位置付けされることを望みます。

## (2) 公共下水道整備事業

(執行状況)

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度 (予定)
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共下水道污水管渠築造工事 (中岡本町外) 整備面積 5ha</li> <li>・特定環境保全公共下水道污水管渠築造工事 (中岡本町外) 整備面積 12ha</li> <li>・河内水再生センサー増設工事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共下水道污水管渠築造工事 (下岡本町外) 整備予定面積 4ha</li> <li>・特定環境保全公共下水道污水管渠築造工事 (中岡本町外) 整備予定面積 26ha</li> <li>・河内水再生センサー増設工事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共下水道污水管渠築造工事 (下岡本町外) 整備予定面積 4ha</li> <li>・特定環境保全公共下水道污水管渠築造工事 (中岡本町外) 整備予定面積 9ha</li> </ul>
整備率※1	65.1%	70.1%	_____
普及率※2	52.8%	53.3%	

※1：事業認可区域面積に対する整備面積の割合 (平成 18 年度末で 43.8%)

※2：河内地区内の人口に対する下水道に接続できる人口の割合 (平成 18 年度末で 38.1%)

### 【平成 23 年度の意見】

公共下水道整備事業は、快適な住環境の維持向上と、河川の水質保全を図るうえで必要不可欠な事業です。

毎年、計画的に整備が進んでおり、普及率も着実に伸びております。

今後とも、計画的な整備を行うとともに、公共下水道に接続可能な地域住民に対する接続に向けての広報が必要です。

### 【平成 24 年度の意見 (案)】

公共下水道の整備は、快適な住環境の創出と豊かな自然環境を守り、河川の水質保全を図るためにも、たいへん身近で重要な事業であり、毎年度、着実に整備されております。

今後も、計画的な整備を進めるとともに、公共下水道に接続可能な地域住民に対する接続に向けての広報・啓発活動が必要です。

### (3) 地域自治拠点整備事業

(執行状況)

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度 (予定)
事業内容	まちづくりと人づくりの一体的執行体制を踏まえ、一体的整備も含めた具体的な組織体制や施設規模・内容等について検討	地域行政機関のあり方や施設規模の考え方についての検討	地域自治センターと生涯学習センターの一体的整備に向けた、具体的な整備内容について検討

#### 【平成 23 年度の意見】

地域自治拠点整備については、まちづくりと人づくりを一体的に進めるとともに、施設や駐車場の効率化を図るため、自治センターと生涯学習センターを一体的に整備することが望ましいと考えます。

施設の機能・規模・位置などを整理するにあたっては、地域住民の利便性の高い施設とする必要がありますので、地域住民の意見を踏まえ、計画を策定する必要があります。

今回の震災により大きな被害を受け、安全性の確保の点からも、早急に、具体的な整備に向けて、取り組むことが必要です。

#### 【平成 24 年度の意見 (案)】

自治センターについては、施設の老朽化など整備に関して検討すべき課題が多くあります。

昨年度までの経緯ならびに今後の自治会議の検討課題に関連して、地域の自治拠点としてふさわしい整備の場所・施設内容、利用方法など具体的な整備計画を策定する必要があります。

具体的な整備計画を策定する際には、災害時の防災拠点や地域文化・生涯学習の拠点としての機能を備えた有機的な整備計画となるように、地域住民との意思疎通が重要であると考えます。

#### (4) 小・中学校校舎整備事業

(執行状況)

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度 (予定)
事業内容	古里中 (耐震補強工事)	岡本西小 (耐震補強実施設計)	岡本小 (耐震補強工事実施設計) 岡本西小 (耐震補強工事)

##### 【平成 23 年度の意見】

地区内の対象 5 校のうち 2 校の耐震補強工事が終了し、残りの 3 校についても平成 27 年度までに校舎の耐震化が行われる予定です。今後についても、施設の整備を計画的に進める必要があります。

また、安心して快適な教育の環境づくりのためには、被災した施設等の復旧に取り組むことが必要です。

##### 【平成 24 年度の意見 (案)】

地区内の対象 5 校のうち 2 校の耐震補強工事が終了し、残りの 3 校についても目標年次である平成 27 年度までの整備完了に向け、今後とも、計画的な整備を望みます。

また、学校は、災害時の地域住民の避難所となることから、それらに対応できる機能を備えた整備がすみやかに行われることを望みます。

#### (5) 小・中学校プール整備事業

(執行状況)

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度 (予定)
事業内容	—	田原小プール (ろ過設備及び給排水ポンプ改修)	岡本西小プール塗装

##### 【平成 23 年度の意見】

衛生面や安全面から、老朽化した施設の整備・改修を進めるとともに、今後、計画的に整備していくことが必要です。

##### 【平成 24 年度の意見 (案)】

プールは、児童・生徒の体力向上を図るために必要不可欠な体育施設であるため、衛生面や安全面に配慮し、老朽化した施設の改修を計画的に進めることを望みます。

## (6) 中央公民館改修整備事業

(執行状況)

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度 (予定)
事業内容	まちづくりと人づくりの一体的執行体制を踏まえ、一体的整備も含めた具体的な組織体制や施設規模・内容等について検討	生涯学習センターのあり方や施設規模の考え方についての検討	地域自治センターと生涯学習センターの一体的整備に向けた、具体的な整備内容について検討

### 【平成 23 年度の意見】

河内生涯学習センター（旧中央公民館）では、地域住民をはじめ市民の生涯学習の場として、また、住民相互の情報交換の場などとして活発な活動が行われております。

同センターの整備に当たっては、自治センターとの一体化を図り、河内地域の特性を生かした地域活動の拠点となるような施設が望ましいと考えます。

そのため、地域住民の意見を踏まえつつ、十分な検討を行い、生涯学習センターとしての機能を発揮した利用し易い、充実した施設となるよう整備計画を早期に策定することが必要です。

### 【平成 24 年度の意見（案）】

河内生涯学習センター（旧中央公民館）は、自治センターと一体的に整備することにより、地域拠点としての機能が十分に発揮され、地域住民の利便性や、住民相互の情報交換の場などとして活発に活動が行われることが期待されます。

整備計画の策定に当たっては、地域住民の意見が反映されることを望みます。

## (7) 岡本駅西土地区画整理事業

(執行状況)

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度 (予定)
事業内容	仮換地指定 (4.0 ha) 建物移転 (61 棟) 道路築造 (369m) 整地造成 (18,969 m <sup>2</sup> )	仮換地指定 (4.0 ha) 建物移転 (49 棟) 道路築造 (491m) 整地造成 (9,638 m <sup>2</sup> )	仮換地指定 (4.5 ha) 建物移転 (46 棟) 道路築造 (467m) 整地造成 (12,700 m <sup>2</sup> )
進捗率※	35.3%	40.5%	44.9%

※特別会計事業費 (26,000 百万円) に対する進捗率

### 【平成 23 年度の意見】

岡本駅西土地区画整理事業については、大規模な長期事業ではありますが、精力的な取り組みにより、事業が順調に進められております。

今後とも、地域住民の意見を取り入れながら、計画的な整備を進めるとともに、事業の案内・説明掲示を増設するなど、事業の目的や効果を市民に明示していくことが必要です。

### 【平成 24 年度の意見 (案)】

岡本駅西土地区画整理事業については、長期にわたり多額の財源が投入され、地域住民の理解と協力のもと、精力的な取り組みにより、着実に整備が進められております。

今後も、地域住民の意見を取り入れながら、計画的な整備を進めるとともに、状況に応じて、整備区域外の市民に対しても、情報の提供がなされることを望みます。

## (8) 岡本駅前周辺整備事業

(執行状況)

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度 (予定)
事業内容	駅関連施設の整備内容の具体化に向けた JR 東日本との協議	岡本駅関連施設基本設計負担金, 岡本駅周辺地域整備基本計画策定調査業務委託など	東西自由通路・橋上駅舎整備に関する実施設計, 駅西口広場整備等詳細設計

### 【平成 23 年度の意見】

岡本駅前周辺地区は、都市計画マスタープラン全体構想において、地域交流拠点の一つに位置づけられていることから、早急な整備計画の策定が必要です。

また、整備計画策定にあたっては、この地域の活性化が図られるよう、地域住民や利用者の意見を取り入れながら、推進されることを望みます。

### 【平成 24 年度の意見 (案)】

岡本駅前周辺地区は、宇都宮市都市計画マスタープランの全体構想において、本市北東部の地域交流拠点の一つに位置づけられていることから、早急に、整備に着手する必要があります。

なお、整備に当たっては、岡本駅西土地区画整理事業の進捗状況に合わせるとともに、地域の意見が反映されることを望みます。



## (9) 農村公園等整備事業

(執行状況)

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度 (予定)
事業内容	土地改良区と地元自治会との打合せの実施 地元の要望調査の実施	引き続き、農村公園等のあり方等について、土地改良区や地元自治会との協議を進める	引き続き、農村公園等のあり方等について、土地改良区や地元自治会との協議を実施

### 【平成 23 年度の意見】

農村公園等の整備については、利用方法や管理方法について、地元の自治会と協議を行いながら、その必要性を含め検討することが必要です。

### 【平成 24 年度の意見 (案)】

農村公園等の整備については、地元の自治会等の意向を踏まえて、協議を行いながら進めることを望みます。

## (10) 農道整備事業

(執行状況)

事業内容	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度 (予定)
下ヶ橋河原地区	1 地区 (175.8m)	—	—
下田原南部地区	2 地区 (538m)	2 地区 (644m)	2 地区 (300m)

### 【平成 23 年度の意見】

重要な産業である農業の生産性の向上と農業経営の合理化のため、農道整備が順調に進められております。

今後も計画的に整備が推進されることを望みます。

### 【平成 24 年度の意見 (案)】

地域の重要な産業である農業の生産性の向上と農業経営の合理化のため、農道整備が順調に進められております。

今後も計画的に整備が推進されることを望みます。

テーマ『教育・文化、健全育成』

資料2

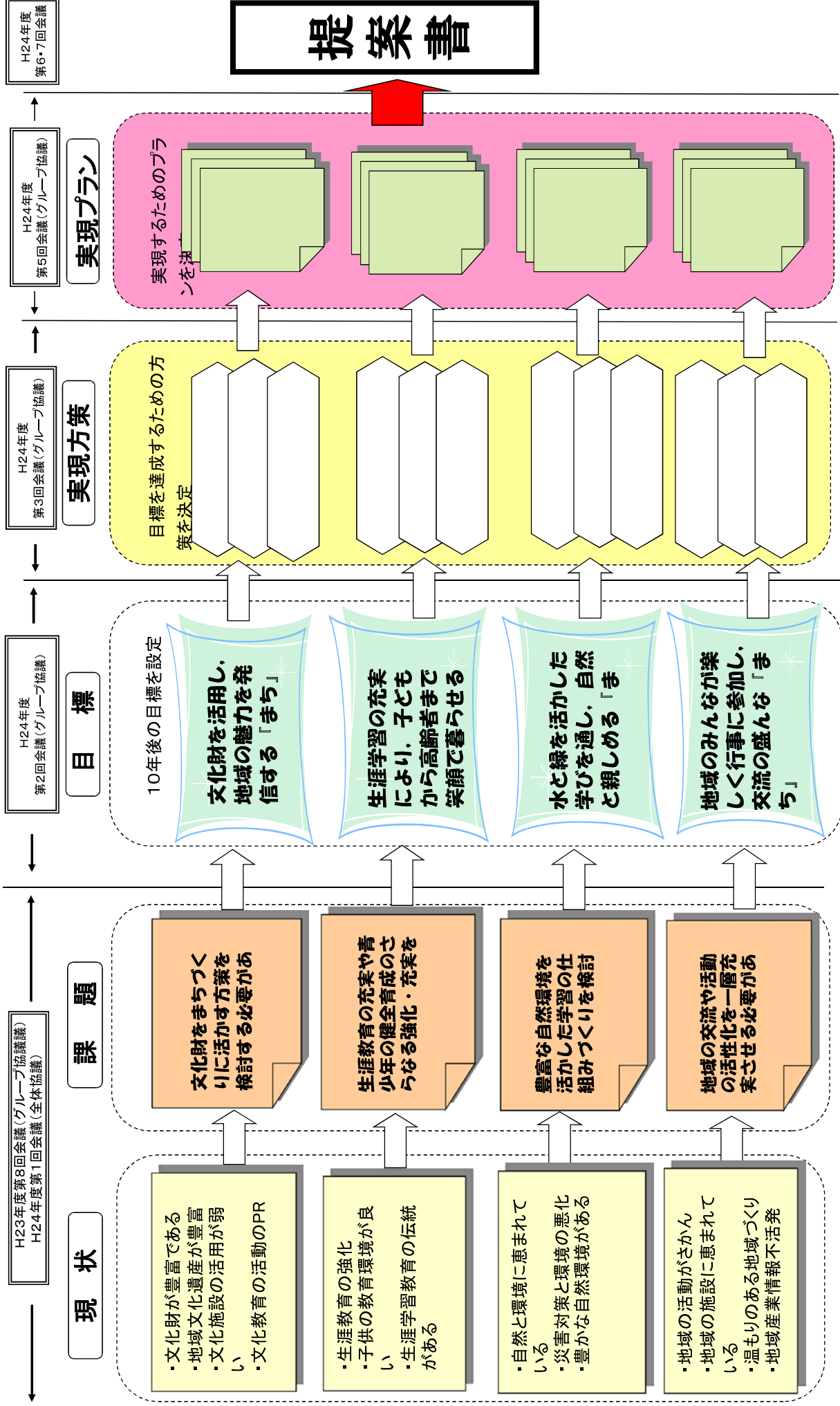
目標（案）

No.	課題	グループから出た目標	⇒	目標（案）
1	文化財をまちづくりに活かす方が策を検討する必要がある	A 文化財で知名度UP	⇒	<b>文化財を活用し、地域の魅力を発信する『まち』</b>
		B 文化財がいきいきと生きている 『まち』		
		C 文化財を再調査し、河内の魅力を発信する町づくり		
2	生涯教育の充実や青少年の健全育成のさらなる強化・充実を図る必要がある	A 笑顔が増す生涯教育の充実（異世代交流）	⇒	<b>生涯学習の充実により、子どもから高齢者まで笑顔で暮らせる『まち』</b>
		B 年長者が子どもと一緒に遊べる 『まち』		
		C スポーツの町としての維持発展を図り、健やかに育ち安らかに老いる町を作る		
3	豊富な自然環境を活かした学習の仕組みづくりを検討する必要がある	A 自然とふれあう体験学習の場を増やす	⇒	<b>水と緑を活かした学びを通し、自然と親しめる『まち』</b>
		B 毎日自然に親しめる 『まち』		
		C 自然環境を組み入れた教育システムの構築された町づくり		
4	地域の交流や活動の活性化を一層充実させる必要がある	A 多くの人が楽しく参加できる機会がある	⇒	<b>地域のみんなが楽しく行事に参加し、交流の盛んな『まち』</b>
		B みんなが行事によるこんで参加できる 『まち』		
		C 地域交流の機会と場を設け、世代間交流や安全・安心の町づくり		

# 【個別テーマ】教育・文化、健全育成

## 提案書作成のイメージ

資料3



目標抽出 グループ協議結果[Aグループ]

課題	目標	数	付箋の記載事項
文化財をまちづくりに活かす方策を検討する必要がある	文化財で知名度UP	21	・地域の文化財を保護・保存できる施設がある。
			・文化財を伝承する後継者が育っている。
			・多くの人(他地区)が集まっている。
			・文化財を他の地域の人達が見学できるシステムがある。
			・住みやすい街, たくさん人が来てくれる街である。
			・河内地区の知名度がUPされている。
			・文化財の保存施設内で映画等イベントを行い, 多くの人に来てくれる施設がある。
			・河内住民の地域への愛着心が高まる。
			・文化財を展示する常設の施設がある。
			・文化財愛護会を結成して行政から助成を受け, 地域の負担を軽減する。
			・文化財を保持している自治会や団体を援助する方策を考える。
			・歴史的な文化財が多くあり, 多方面に広くPRする。
			・子供達に地域の伝統行事を伝える。
			・文化財をピックアップして地域に周知する。
			・文化財・包蔵地を広く住民に知らせる。
			・指定文化財・指定外文化財の見学会・勉強会をする。
			・自分の地域を詳しくする。
・地域文化遺産の勉強会を行なう。			
・自治会の文化財を子供達に伝え, 共に学ぶ。			
・街路樹に特徴をもたせて町づくりする。			
・地域を離れた子供達が戻れる楽しい場所・文化財を見直す。			
生涯教育の充実(異世代交流)	笑顔が増す生涯教育の充実(異世代交流)	13	・様々な分野の指導者が生れる。
			・多世代の人が一緒に学べる場が増える。
			・青少年を育てる指導者がいる。
			・子どもたちの笑顔が増す。
			・非行の減少。
			・高齢者の趣味を活かし, 子供達と学び, 遊べる交流の場所が多くなっている。
			・人との関わりの中で思いやりのある子どもが育つ。(弱者への思いやり)
			・生涯学習センターを充実させてシルバー大学がある。
			・学校区をこえた子ども達の交流がさかんになっている。
			・幼児・高齢者が一同に集い, 楽しめる施設がある。
			・生涯教育の拠点となる場所(学習センター, プラザ等)を利用しやすくする。
			・生涯教育のカリキュラムの充実を図る。
			・夏休み等に地域の子供会の活動を活発にする。

課題	目標	数	付箋の記載事項
豊富に自然環境を 活用する必要がある 学習の仕組み	自然とふれあう体験 学習の場を増やす	11	・自然環境を守るシステムが確立されている。
			・自然の中で子供達が元気に遊べる場所がある。
			・自然とふれあう場がある。
			・豊富な自然環境をいかし、市民手作りのウォーキングコースがある。
			・農業後見人の育成、若人の体験学習など沢山の人が賑わえる自治会に若人の楽園がある。
			・自然に感謝し、大切にするという思いが強まる。
			・老若男女問わぬ共通出来る遊具場、田、畑、山にある。
			・学校において農業体験を通じて、食育の教育をする。
			・小中一貫教育での自然の体験学習をすすめたい。
			・新市になってから宅地造成・乱開発が多いので、限度を設ける。
			・「NPOグラウンドワーク西鬼怒」のような活動を多くして、都会・市部の子どもを集める。
地域の交流や活動の 活性化を一層充実させる 必要	多くの人が楽しく参加 できる機会がある	16	・地域が明るくなる。(笑顔が・・・)
			・それぞれの自治会間の交流が密に行われている。
			・個人で参加できる学習の場が多く設けられている。
			・他人への思いやりや助け合いの心が強まる。
			・自治会内の行事に参加し、住民同士の交流が図れている。
			・産直商品をたくさんつくり、販売が盛んである。
			・地域の公民館が活発に活動・利用されている。
			・他の自治会との交流時の交通機関が充実している。
			・プールの活用で中高年の健康がUPしている。
			・他市・他地区のような街並みができている。
			・自治公民館が全地域に出来ている。
			・三世代交流を促進する。
			・近隣の自治会をいくつかのグループにわけて、協力してイベントをする。
			・高齢者と若年層の共通の行事を多くする。
・地域のイベントの活性化を図る。			
・交流の深まるイベントを開催したい。			

テーマ『教育・文化、健全育成』

目標抽出 グループ協議結果[Bグループ]

課題	目標	数	付箋の記載事項
文化財をまちづくりに活かす方策を検討する必要がある	文化財がいきいきと生きている『まち』	15	・文化財の公共施設へのローテーション展示。
			・文化財は河内地区の特性を十分に活かして創造していく。
			・河内の文化活動環境のさらなる充実をめざす。
			・河内の文化的資源の見直し、掘り起こし、保存・継承していく。
			・文化財は歴史を語る、河内の地元の人が大切に思うことで、価値も高まると意識を育てる。
			・文化財はどういう視点で守るべきか？ いまに伝える貴重な史料だと認識することの大切さを育てる。
			・文化財は身近な歴史、これに興味を持つように、保育・学童教育の中に取り入れる。
			・GNHを踏まえたハード(拠点)の構想を。
			・無形文化財の伝承が危機にひんしている。
			・文化の伝承と展開の衆知徹底と学びと実践が必要。
			・有形文化財が死んでいる。
			・倉庫の眠る貴重な文化財や発掘資料が展示されている。
			・文化財を巡るいくつかのコースが出来て整備されている。
			・文化財マップが出来、より解りやすい資料となっている。
・文化財を案内するボランティア組織が出来ている。			
が生涯教育の充実や青少年の健全育成のさらなる強化・充実を図る必要	年長者が子どもと一緒に遊べる『まち』	32	・青少年のグループ研究と発表。(広報誌)
			・年代を越えて共に学ぶ場を増やしたい。
			・幼児教育にもGNHの考え方を基本にとり入れる。
			・教育環境の充実はGNHの導入でさらにアップが図れる。
			・青少年の健全育成のさらなる強化・充実を図る。
			・GNHとは国民総幸福の考え方。
			・ブータンの国民総幸福(Gross,National,Happines)のような“幸せ”とは何かを問う教育を学校教育・保育教育に導入する。
			・国民総生産(GNP)より国民総幸福(GNH)の“ブータンの徳”の全教科で学ぶシステムの導入。
			・保育教育に国民総幸福をかなえるために必要な童話の導入で読み聞かせの充実を図る。
			・自立した「人」となる為の学びが必要。
			・GNH教育には、環境の保全が欠かせない。そのための環境教育の充実を図る。
			・信頼される学校教育を推進するためGNHを導入する。
			・GNH教育とは、普遍的価値を教えるもの。河内にも学校教育に導入したい。
			・河内地区のGNH教育導入で保育・学童教育でユニークさを全国に先がけて打ちだそう。
			・老人が社会人の先輩として自信を持って動く必要がある。
・GNH教育導入のために、指導者の養成や研修会を開催する。			
・青少年の文・武の練磨への支援態勢を整える。			

課題	目標	数	付箋の記載事項
実生を涯図教育の充実や青少年の健全育成のさらなる強化・充	年長者が子どもと一緒に遊べる『まち』		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習の中にもGNH教育の“幸せ”を学習する内容を十分に盛りこんでいく。</li> <li>・効率主義の“国民総生産(GNP)からブータンの徳”国民総幸福(GNH)へ河内地区から率先して保育・学童教育を切りかえていく。</li> <li>・GNHをめざして次代を築く人材づくりが急務。</li> <li>・学力向上の推進のためGNHを導入する。</li> <li>・高等学校などの誘致。</li> <li>・青少年たちの交通安全。</li> <li>・河内地区が幸せに募らせるためのGNHの導入化。</li> <li>・小学校の中に複合施設が整備されている。(学童保育に)</li> <li>・GNH実現にむけてのネットワーク型コンパクトシティづくり。</li> <li>・GNHの考え方に基づいたアメニティづくりと河内地区の特性を活かした町づくり。</li> <li>・生涯にわたる学習活動をGNPに基づいて促進する。</li> <li>・社会をつくる人づくりをGNHに基づいて促進する。</li> <li>・家庭・地域の教育力の向上のためGNHを導入する。</li> <li>・GNH教育は幸せとを感じる人を増やすのが目的ではない。①足るを知る生活のバランス ②地域文化への理解 ③地域の環境保全を教える。</li> <li>・健全な青少年を育成するためにGNHを導入する。</li> </ul>
組豊み富なづくりを環境を学活の仕	毎日自然に親しめる『まち』	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活バスの循環、促進策の実施</li> <li>・生物の命の大切さを学び、共生できる喜びを得られる自然との触れあいに満ちた地域となる。</li> <li>・ワークショップ等で地域のなかにいろいろな技能を持った人を発見する。</li> <li>・豊富な知識や経験を持った方を地域の指導者として任命する。</li> <li>・豊かな食文化を守り、交流の資とする。</li> <li>・世代毎に自然に触れる機会を増す。</li> <li>・乱開発を止める。</li> <li>・第一次産業「命の産業」をしっかり守る。</li> <li>・環境教育の指導者の養成のしくみづくり。</li> <li>・自然享受権をふまえた環境教育の導入。</li> </ul>
一地域層の充実や交流の活性化を	みんなが行事によるこんで参加できる『まち』	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・GNHに基づいた人がふれ合う幸せ力アップな社会づくり。</li> <li>・農業農村と都市の交流の場が増えている。</li> <li>・逆面地区の様な自然と歴史が一体となって地域が守られている。</li> <li>・地域のイベントをインターネットで広く普及させるブログ・HPの充実を。</li> <li>・自治会活動を全員参加活動とする。(義務)</li> <li>・各NPO団体のさらなるつながりを深めるしくみづくり。</li> <li>・地域の共労作業を増やす。</li> <li>・老人と子供のつながりを強くする。</li> <li>・伝統的な「催し」を復活したり、新たに作り出す。</li> </ul>

テーマ『教育・文化、健全育成』

目標抽出 グループ協議結果〔Cグループ〕

課題	目標	数	付箋の記載事項
文化財をまちづくりに活かす方策を検討する	文化財を再調査し、河内の魅力を発信する町づくり	14	・文化財の再調査(詳細の聞き取り等), データベース化して。
			・郷土の歴史の再編纂とその啓蒙を図る。
			・伝統行事の継続とPRを積極化する。
			・地域の歴史・文化・自然をまとめた資料館とした拠点をつくる。
			・公共の文化施設を1か所にまとめて統合する。
			・自然・歴史を組み込んだ観光ルートを構築する。
			・見物客の流動人口が増える。
			・芸術／文化の教育。
			・河内の文化に触れ親しむ。
			・河内の特色, 理解教育。
			・見物客が案内マップを見ながら施設めぐりができる。
			・土産を買う客がふえる。
			・河内地区の主な文化財施設を記した案内立て看板が十分役に立つ。
			・文化財観光システム。
生涯教育・の充実を図る必要が健全育成のさら	スポーツの町としての維持発展を図り、健やかに育ち安らかに老いる町を作る	14	・スポーツの町としての維持発展を図る。
			・健やかに育ち, 安らかに老いる町づくり運動。
			・情報リテラシー教育。
			・自然と人間の理解教育。
			・コミュニケーション手法教育。
			・小中に介護教育導入。
			・生涯学習へのカルチャー制度を構築する。
			・社会教育の円滑な推進が図られる。
			・少年から老年までの「スポーツの町」としてのビジョンを構築する。
			・スポーツが盛んになり, 青少年の健全な育成が図られる。
			・スポーツ人口の増加が見られる。
			・健康づくり教育。
			・市民同志の絆をより一層深めることができる。
			・スポーツ, 行事等への活動の参加意欲の向上を図る。
豊かな自然環境を自然環境を活かした学習の仕組み	自然環境を組み入れた教育システムの構築された町づくり	14	・現在, 各地域に残る自然を利用した地域学習, 施設を作れるか。
			・自然探訪の機会をルール化する。
			・自然に親しむ環境を再構築し, 提供する。
			・自然環境に付加価値をつけて観光力を高める。
			・河内の観光教育。
			・自然と人間を理解し親しむ教育の展開。
			・学校と農家の連携で農業体験を充実する。
			・河内・鬼怒川・自然・歴史塾。
			・安全・安心教育。
			・環境保全教育を高め, 関心を育成する。
			・自然環境の大切さが改めて認識される。
			・自然を愛し, 自然を保護しようとする意識が高くなる。
			・地域の特色を学ぶ教育。
			・河内・鬼怒川・自然エネルギー・開発教育。
課題	目標	数	付箋の記載事項



るを地 一域の 層の交 充実流 さや活 せら動 必要の が活 性が性 化あ	地域交流の機会と 場を設け、世代間交 流や安全・安心の町 づくり	8	・地域交流館的な施設や交流機関を作る。
			・地域と学校の交流の場を拡充する。
			・介護教育。
			・地域と産業の交流の場を盛んにする。
			・地域間の情報交換が活発になり、地元における活動が活発になる。
			・安全で安心できる防犯・事故防止のすぐれた町づくりを目指す。
			・コミュニケーション教育。
			・ボランティア教育。

協議の進め方について（実現方策）

1 役割分担の決定（※各自いずれかの役割を担うこととする）

《グループ協議》

- ・グループリーダー（1名）→協議の進行と協議結果の発表
- ・副リーダー（1～2名）→リーダーの補佐
- ・書記（1～3名）→結果を模造紙や提出用紙等に記載
- ・タイムキーパー（1～2名）→時間配分の調整

2 実現方策について

《グループ協議》

(1) 実現方策を抽出〔60分〕

- ①目標に基づき実現方策を導き出し、付箋に記載する。〔30分〕
- ②付箋を模造紙記載された目標ごとに貼り、実現方策を検討する。〔10分〕
- ③実現方策を優先順に3つ以内に絞る。〔10分〕
- ④目標ごとの実現方策を、模造紙と資料（A）に記載する。〔10分〕

【例】テーマ：産業・経済 ※裏面の事例を参考としてください。

目標	○○○○○	目標	○○○○○
実現方策	①	実現方策	①
	②		②
	③		③
目標	○○○○○	目標	○○○○○
実現方策	①	実現方策	①
	②		②
	③		③

＜全体協議＞

(2) 実現方策の整理〔15分〕

- ①各グループの協議結果を発表（グループリーダー）する。※各3分以内
- ②質疑応答。
- ③各グループから発表された実現方策について協議し、整理を図る。

..... **【次回会議で決定】** .....

＜全体協議＞

(3) 実現方策を設定する

- ①実現方策（案）について全体で協議し、実現方策を設定する。

【事例】

テーマ：産業・経済

前回の会議で決定した  
目標が入っています。

グループで協議し、  
実現方策を設定し  
て、ここに記載して  
下さい。

目標	自然と調和したまちづくりをめざす
実現方策	①地域住民への自然保護の教育
	②自然を利用したイベント等の取り組み
	③自然を次世代へ残すための啓発とPR

まとめた付箋  
から導きださ  
れる実現方策  
を記載して下  
さい。

目標を達成するための  
実現方策を付箋に記載  
して、ここに貼って、方  
策ごとにまとめて下さ  
い。

①

学校での自然に対する教育を行う	自然保護に関する研修会・勉強会を実施する	子供たちに自然を大切にする教育を重点的に行う
ネイチャー教育をできる指導者を育成する	河内生涯学習センターで自然をテーマにした教室等を開催して意識を持つ	

②


③


## 【テーマ】教育・文化，健全育成

## A・B・C グループ

No.	目標	⇒	実現方策
1	文化財を活用し，地域の魅力を発信する『まち』	⇒	① ② ③
2	生涯学習の充実により，子どもから高齢者まで笑顔で暮らせる『まち』	⇒	① ② ③
3	水と緑を活かした学びを通し，自然と親しめる『まち』	⇒	① ② ③
4	地域のみんなが楽しく行事に参加し，交流の盛んな『まち』	⇒	① ② ③